

2016年3月28日

調査・研修報告書(会派個人用)

会派名:

報告者: 松浦昇

実施場所: 広島県江田島市	実施日: 2016年3月23日
<p>■目的・課題・問題事項(調査・研修に先立っての思いや本市の現状など)</p> <p>①江田島市あためし暮らし制度のとり組みについて。 ②民泊型修学旅行誘致のとり組みについて。 上記の二つの施策を研修し庄原市のとり組みに生かしたい。</p>	
<p>■参考とすべき事項</p> <p>○定住対策 庄原市補助事業^秋27年度^秋和自治振興区が導入。江田島市では平成20年度より取り込み。事業内容は、移住を志している人が一定の期間、市内で生活体験が出来よう。家屋を提供する仕組み。8坪角で利用件数は109件。利用者は237人の実績。 二した取り込みもあり移住者は10世帯207人の実績。</p> <p>○民泊型の修学旅行誘致のとり組み。 江田島の豊かな自然。家族と地域。食生産現場、田舎郷土料理、田舎暮らし等農山漁村の教育力を生かした仕組み。条件整備として現在12軒の登録。372人の受入可能数となっている。</p>	
<p>■提言・その他(本市の施策等にどのように活用すべきかなど)</p> <p>○江田島市は、二つの施策を市の事業として実施している。定着するためには、行政が主体で自治振興区等と協働でとりこむことがいけるのではないかと。</p>	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。